

菊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、菊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 流域面積が小さく、流域の約48%が水田・茶畑等として利用されている流域であり、河川整備に加え、防災ステーションの整備や水田貯留等の流域対策により、水害リスクの軽減を図る。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後2番目の平成10年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和57年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、横断工作物(床止め、堰など)の改築
- ・堤防舗装工、護岸工、河道付け替え工
- ・水門整備、逆流防止施設の機能強化
- ・水田貯留等
- ・森林・治山施設の整備
- ・公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討
- ・砂防施設等の整備

等

■被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期復旧に備えた対策(防災拠点の整備 等)
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・国・県・市が連携したタイムラインの運用
- ・国・県による洪水ハザードマップの作成支援
- ・宅地建物取引業団体への水害リスク情報等の説明
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- ・マイタイムラインの作成推進

等

農業事業者との調整状況 (掛川市：与惣川流域)



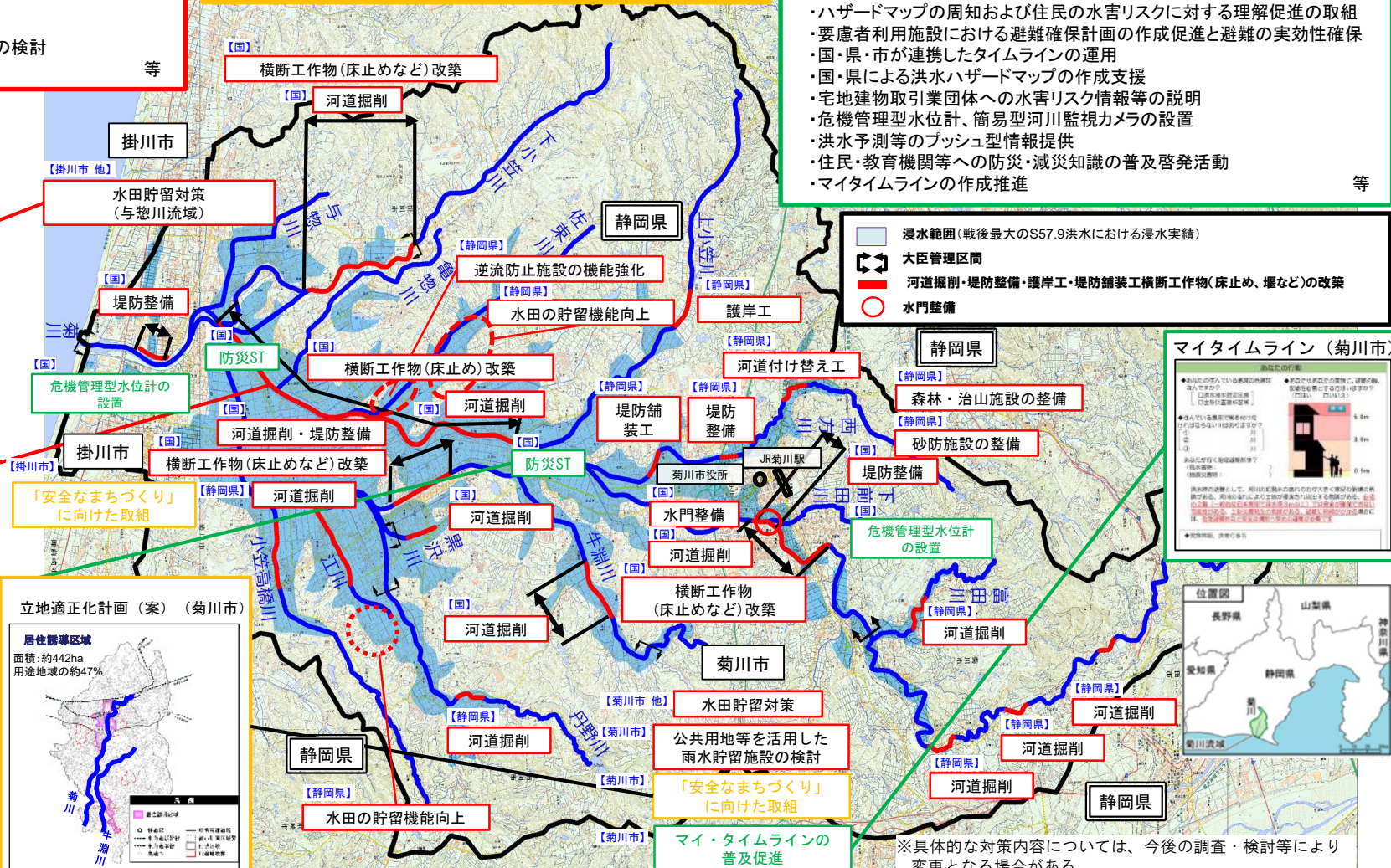
河道掘削 (浜松河川国道事務所)



防災ステーション (浜松河川国道事務所)



立地適正化計画(案) (菊川市)



マイタイムライン (菊川市)

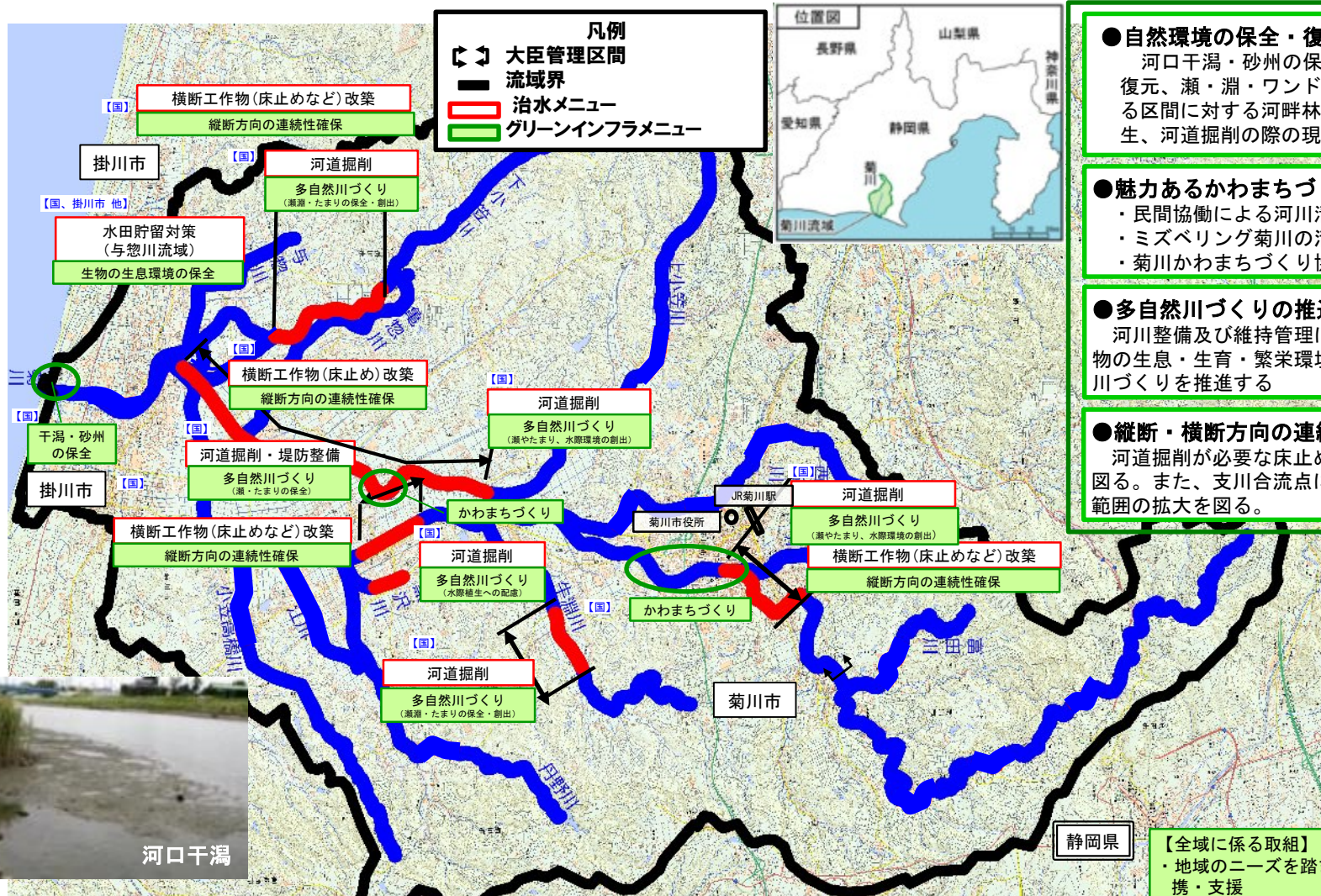


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

●グリーンインフラの取り組み 『地域住民や関係機関等と連携した水辺空間の利用・創出』

- 菊川流域は、自然資源や丘陵地と茶畑ののどかな景観を有しており、カワラヒワをはじめ多くの野鳥が生息することで知られ、鳥獣保護区に指定されている。河口部干潟は餌場となり多くの水鳥の越冬地になっているなど、豊かな生物の生息場となっている。
- 水際の河岸整備にあたり、間隙を設けるなど河岸植生が形成されやすい水辺空間の創出や、地方公共団体や地域住民との連携の下、まちと水辺が融合した良好な空間の創出に向け、今後25年間（令和28年度）で多自然川づくりによる環境の創出など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



●自然環境の保全・復元などの多自然川づくり

河口干潟・砂州の保全、河畔林の保全、河岸植物の保全・復元、瀬・淵・ワンド・たまりの保全、河畔林が形成されている区間に対する河畔林の保全、水際域での現地植生の保全・再生、河道掘削の際の現存する瀬・淵・ワンド・たまりの保全

●魅力あるかわまちづくり

- ・民間協働による河川清掃の実施
- ・ミズベリング菊川の活動
- ・菊川かわまちづくり協議会の活動

●多自然川づくりの推進

河川整備及び維持管理にあたっては、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全する多自然川づくりを推進する

●縦断・横断方向の連続性の確保

河道掘削が必要な床止め等については改築し、連続性の確保を図る。また、支川合流点においても落差を解消し、魚類等の生息範囲の拡大を図る。



菊川桜マルシェでの出店の様子

【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

菊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

- 菊川では、過去に浸水被害が発生した流域を対象に、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川中流部、西方川で河道掘削等を実施する。
また、掛川市において水田貯留を実施するとともに、掛川市、菊川市において立地適正化計画による防災指針の周知や実行。

【中期】 重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削等を実施する。

【中長期】 平成10年9月洪水（戦後2番目）と同規模の洪水を安全に流下させるため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削を実施し、流域における浸水被害の軽減を図るとともに、避難場所や経路に関する情報の周知・住民の防災意識向上のための取組みを推進していく。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	重大災害の発生を未然に防ぐための河道掘削	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・下小笠川・牛淵川上流部
	下前田川の水門整備	浜松河川国道事務所	下前田川	下前田水門の整備が完了	
	河川改修の推進	静岡県	西方川、江川、上小笠川		
	河道掘削、樹木伐開による流下能力向上	静岡県	小笠高橋川、江川、丹野川、黒沢川、富田川、菊川		
	市管理河川の浚渫	菊川市	市管理河川		
	砂防施設等の整備	静岡県			
	堤防天端舗装による粘り強い堤防化	静岡県	西方川		
	逆流防止施設の機能強化	静岡県	佐渡川	先行して与惣川流域で水田貯留を試験的に実施	
	水田貯留等	浜松河川国道事務所、静岡県、掛川市、 菊川市、水田所有者・耕作者	整備開始		
	森林・治山施設の整備	静岡県			
公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討	菊川市	施設整備の検討 (菊川市)			
被害対象を減少 させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取り組み	掛川市、菊川市			
	水災害リスク空白域の解消 (土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)	静岡県			
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	水災害リスク空白域の解消 (洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域標識等の設置、 ハザードマップ作成・配布)	静岡県、掛川市			
	避難場所や経路に関する情報の周知	浜松河川国道事務所、静岡県 掛川市、菊川市	デジタル版家庭の避難計画 (掛川市)		
	住民の防災意識向上のための取組み				
	各主体の避難行動や被害軽減行動を促すための情報共有方策やその伝え方	静岡県、菊川市、掛川市	防災拠点の整備 (掛川市)		
	防災拠点の整備	浜松河川国道事務所 掛川市、菊川市			
グリーンインフラ	多自然川づくり	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部
	縦断方向の連続性の確保	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部

菊川、下小笠川、牛淵川の整備計画対応が完了

継続的に水田貯留を実施予定

立地適正化計画に基づく防災指針
(掛川市、菊川市)

下内田防災ステーション開所
(菊川市)

防災拠点の運用
(菊川市・掛川市)

【事業費】

■河川対策

全体事業費：約166億円 ※1
対策内容：堤防整備、河道掘削
堰改築 等

※1： 直轄及び各圏域の河川整備計画の
残事業費を記載

菊川、下小笠川、牛淵川の整備計画対応が完了

気候変動を踏
まえた更なる
対策を推進

立地適正化計画
に基づく防災指針
（掛川市、菊川市）

防災拠点の運用
（菊川市・掛川市）

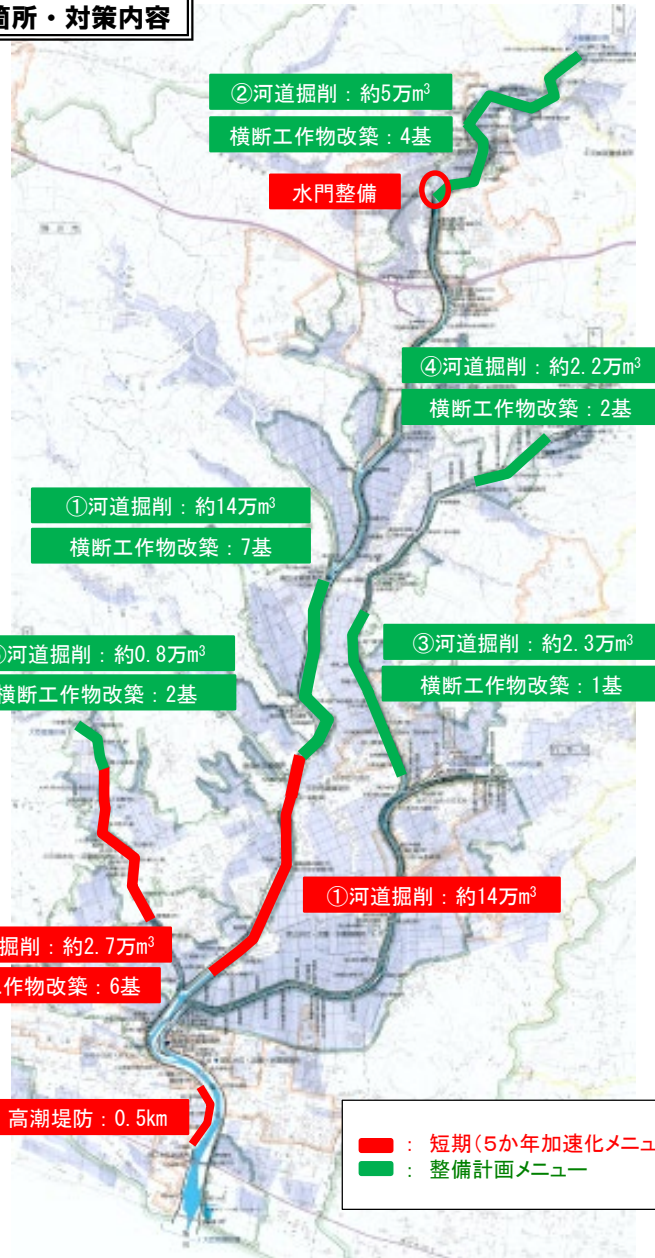
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

菊川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

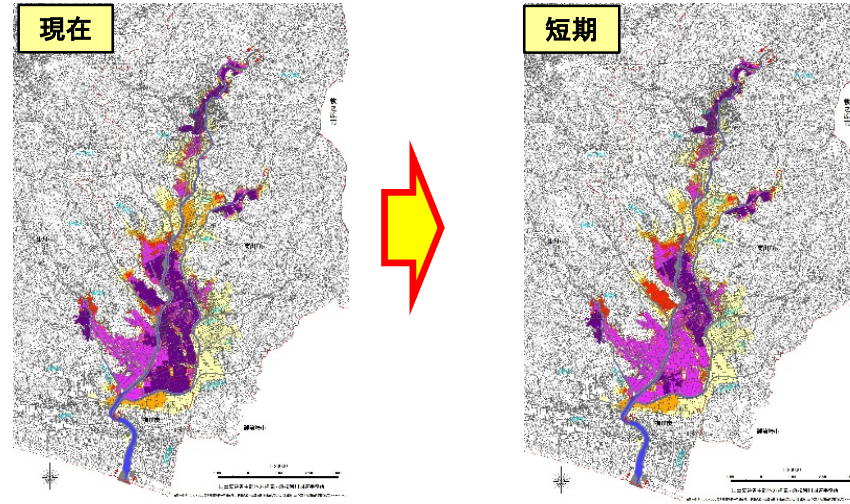
～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約71%→約76%

実施箇所・対策内容



○ 菊川・下小笠川下流部、における河道掘削や堤防整備をR7まで、実施することにより、菊川市を中心とした市街地における浸水深・浸水面積の減少させることが可能。



整備メニュー（ロードマップ）

区分		対策内容	区間	工程		
				短期(R3～R7年度)	中期(R8～R14年度)	中長期(R15～R27年度)
関連事業				1/10未満→1/10未満 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)	1/10未満→1/10以上 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)	1/10以上→1/50以上 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	河道掘削	菊川下流地区	R3 67%			
		菊川上流地区				
		牛淵川中流地区				
		牛淵川上流地区				
		下小笠川地区	77%			
	横断工作物改築		76%			
	高潮堤防整備	同所地区	100%			
	水門・堤防整備	本所地区	100%			
	堤防整備					

・外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する可能性があります。

・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。

・この安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)

・本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

菊川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：76%
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



0市町村
（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



20施設
（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 0箇所
（令和4年度実施分）
砂防関連施設の
整備数 0施設
（令和4年度完成分）
※施行中 0施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定 3河川
区域
（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定 0団体
区域
（令和4年9月末時点）

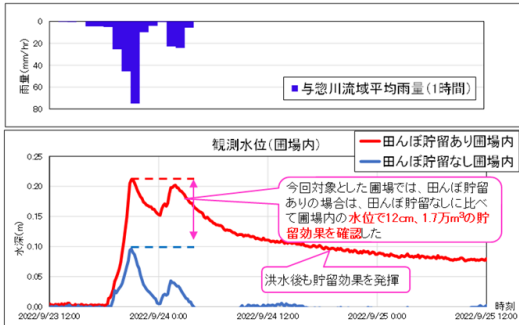
高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 177施設
計画 土砂 45施設
（令和4年9月末時点）
個別避難計画 2市町村
（令和4年1月1日時点）

田んぼ貯留実証実験

圃場内の貯留効果（田んぼ貯留有り無しの比較）



田んぼ貯留なし

田んぼ貯留あり

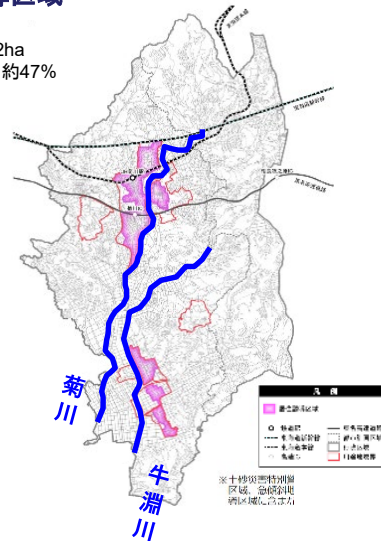
令和4年度の田んぼ貯留実証実験の様子 （掛川市 与惣川）

菊川流域では、水田が多い流域の特性を活かし、降雨時の流出抑制水対策として、水田貯留を推進している。令和4年度は、菊川の支川である与惣川流域において実証実験を実施した。
＜実施主体＞浜松河川国道事務所、静岡県、掛川市、水田耕作者

頻発・激甚化する自然災害に対応した 「安全なまちづくり」に向けた取組み

居住誘導区域

面積：約442ha
用途地域の約47%



立地適正化計画（菊川市）

令和5年度以降に立地適正化計画に基づく防災指針位置付け検討に着手していく予定である。

＜実施主体＞菊川市、掛川市

出前講座等による地域の 防災意識向上への取組み



掛川市の取組み

掛川市では、令和4年度の市ハザードマップの更新を踏まえ、出前講座や防災リーダー研修等で、家庭の避難計画の作成方法等を指導。

菊川市では、市ハザードマップを活用し、出前講座等で幅広い年代の市民に対し、自宅等の水害リスクを再認識すると同時に、マイ・タイムラインの作成方法等の普及啓発を防災士と連携し、水害への防災意識向上を図った。

＜実施主体＞掛川市、菊川市

菊川市の取組み

